

赤こんりポート

松村美沙枝リポーター



八幡で自然なお産を 安心を安全につなげるうたな助産所

牧町にあるうたな助産所は、お母さんの産む力と赤ちゃんの生まれる力を信じるという理念のもと、お産に取り組んでいる県内でも数少ない分娩のできる助産所のひとつ。妊娠期からの関わりやバースプランだけでなく、市の産後ケア事業とも提携。昨年からは市内の助産師4人と協力して「助産師@うたな」としても始動し、マタニティークラスやベビーマッサージ、抱っこ講座など、妊娠中から産後まで気軽に相談・集える場を提供しています。全ては「1人でも多くの女性が妊娠、出産、産後を安心して過ごせるようになるため」。詳しくは、堀尾さん☎090-6753-5090まで。

赤こんりポート

今井良治リポーター



「八中の日」を盛り上げようと 段ボールの円卓囲み「八中サミット」

学校の現状や課題について生徒と教師、保護者、地域が共に議論する「八中サミット」が6月24日、八幡中学校で開かれました。地域との連携を深め、より良い学校を築くヒントを得ようと、生徒会が主導し毎年2回行われています。この日は生徒会執行部、PTA役員、学校運営協議会委員、教師が6、7人ずつ7グループに分かれ、円形の段ボール製のボードをひざに載せ車座になり、今年度毎月第2金曜に定めた「八中の日」を盛り上げることをテーマに、課題やその解決のために実行できること、キーワードを熟議、その内容を各自がボードに書き込んだり、グループごとに発表し合ったりしながら、地域や仲間同士がつながる方法などを確認していました。



赤こんりポート

東恵子リポーター



サッカーを通してお互いを応援！

障がいのある人の余暇を楽しめるものに、と月一回開かれていた「よかつたいむ」。6月は健康ふれあい公園の屋根付き多目的広場で「フットサルをやってみよう！」でした。

障がい児者にダンスを教えている講師・辻清子さんと八幡商業高校サッカー部顧問・中村正人さんが知人の縁で、障がいのある人と1年生部員がプレーすることになりました。腕を組んでボールに集中すると、もうみんな仲間です。続く試合では、八商の生徒が仲間にパスをし、シュートを決めると「タッチ」して喜び合いました。

八商の井上蒼生さんは「僕たちのことを知ってもらって、お互いを応援できたらうれしい」。吉田太一さんは「コミュニケーションを取るのが難しいと思ってたけど、フレンドリーで楽しかった」と話していました。

6月25日



近江八幡百人百景 使い切りカメラで まち歩き撮影会

ヴォーリス記念館・ハイド記念館・教育会館保存活用推進協議会主催で、市内の旧市街一帯を自由に散策しながら、27枚撮りの使い切りカメラを使って写真を撮影するイベントが開催されました。

参加者の100人は旧八幡郵便局やアンドリュース記念館などを訪れ、ヴォーリス建築の特徴である窓を撮影したり、八幡山をロープウェイで登り、山頂からの景色を撮影したりして楽しんでいました。回収したフィルムは全て現像・プリントし、10月6日から展示会、22日に表彰式を行う予定です。

6月25日



聖徳太子の薨去 1400年を記念し 秘仏の本尊を特別開帳

小船木町の願成就寺で秘仏の本尊・十一面観世音菩薩が特別開帳されました。同寺は近江の48か所に寺院の建立を目指した聖徳太子が最後に建てたとされ、その願いが叶ったことが寺の名前の由来とされています。国の重要文化財にも指定されている本尊は、1本の木材から仏像の全身を丸彫りした「一木造り」で平安時代後期のもの。

午前10時から小西智俊住職らによる開扉法要が営まれ、通常49年に1度しか見ることができない本尊を一目見ようと多くの参拝者らが訪れました。

6月26日



きたさと子ども体験活動で ニゴロブナの稚魚をびわこに放流

ニゴロブナの稚魚放流は、野村町自治会と北里学区まちづくり協議会子どものみらい部会が、北里小学校学校支援地域本部と滋賀県水産振興協会の協力のもと、子どもたちが自然に親しむことを目的に毎年開催しています。

この日集まった親子41組は、農業生産性と環境保全の大切さなどの説明を聞いた後、佐波江浜の波際まで行き、田んぼで体長約2cmになるまで育てたニゴロブナの稚魚をバケツに小分けして放流しました。

野村町自治会長の仲江九市さんは「子どもたちに楽しんでもらうのが一番。その中で環境のことも考えてもらえたら」と話していました。

6月12日



「東レアローズ女子バレーボール部」による バレーボール教室開催

令和7（2025）年に、滋賀県で開催される第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会で4競技が開催される運動公園体育館の改修工事を記念して、バレーボール教室が開催されました。

東レアローズの選手たちはレシーブやトスなどの基本動作から手本を見せ、参加した市のスポーツ少年団バレーボールチーム6チーム・76人の子どもたちに丁寧にアドバイス。質問にも答えながら「トップの技」を伝授しました。エキシビジョンマッチでは、子どもたちはプロを相手にレシーブやトスで懸命にボールをつなぎ、スパイクが決まるとチームで輪になって喜んでいました。

7月5日



ダンスでサポート！ いい睡眠ですてきな1日を始めよう

正しい睡眠習慣から子どもたちの成長を応援する「眠育」活動の一環として、寝具メーカーの西川株式会社が八幡小学校5年生の児童を対象に「おやすみ・おはようダンス&ねむりセミナー」の特別授業を開催しました。

おやすみ・おはようダンスは、教育分野でダンスの可能性を広げる活動に取り組むEXILE TETSUYAさんが考案し、同社の研究機関が監修して誕生したものです。就寝時にリラックスして入眠を促す「おやすみダンス」と、起床時にすっきりと目覚めるための「おはようダンス」で子どもたちの眠りをサポートします。授業を受けた子どもたちは「普段は9時半に寝ています。ダンスは難しかったけど楽しかった」「これから朝起きた時や夜寝る時に踊りたい」と話していました。